

ハンガリー

Hungary

	2010年	2011年	2012年
①人口:996万人(2012年)			
②面積:9万3,024km ²			
③1人当たりGDP:1万2,736米ドル (2012年)			
④実質GDP成長率(%)	1.3	1.6	△1.8
⑤消費者物価上昇率(%)	4.9	3.9	5.7
⑥失業率(%)	11.2	10.9	10.9
⑦貿易収支(100万ユーロ)	3,215	3,393	4,071
⑧経常収支(100万ユーロ)	1,066	808	1,605
⑨外貨準備高(100万米ドル, 期末値)	44,849	48,681	44,506
⑩対外債務残高(グロス)(100万ユーロ, 期末値)	107,141	102,490	94,463
⑪為替レート(1米ドルにつき, フォリント, 期中平均)	207.944	201.055	225.104
⑫為替レート(1米ドルにつき, ユーロ, 期中平均)	0.7550	0.7194	0.7783

【注】⑦⑧:国際収支ベース, ⑦:財のみ

【出所】①②④~⑥:ハンガリー中央統計局, ③⑨⑪⑫:IMF, ⑦⑧⑩:ハンガリー国立銀行

2012年のハンガリー経済は、内需が落ち込み、実質GDP成長率はマイナス1.8%となった。貿易は、輸出入ともに前年からほぼ横ばいとなった。対内直接投資は自動車や再生可能エネルギー分野の案件がみられた。対外直接投資は国営石油大手の権益取得などがあり、金額も急増した。前年に引き続き進出企業による既存の生産施設・物流施設を拡張する動きが目立った。対日輸出は前年から回復したが、輸入は減少した。

■ 内需の低迷によりマイナス成長

2012年のハンガリーの実質GDP成長率はマイナス1.8%となり、2009年以来となるマイナス成長に転じた。GDPを需要項目別にみると、内需は民間最終消費支出が前年比2.0%減となり、最大のGDP押し下げ要因となった。政府最終消費支出は0.5%増となったものの、国内総固定資本形成は3.8%減となった。輸出が2.0%増となった一方、輸入が0.1%増にとどまり、GDPのプラス要因となった。

消費者物価上昇率は2012年から付加価値税(VAT)率が25%から27%に引き上げられたことや天候不順による野菜類の価格高騰などが影響して5.7%と大幅上昇した。政府が2013年4月に発表した2013~16年経済収れん計画では、VAT引き上げの影響がなくなることや2013年からの電気代、ガス代の強制値下げの効果が出ることにより消費

者物価上昇率は3.1%に落ち着くと予測している。

失業率は2012年に10.9%と依然高止まり状態が続いているが、2013年は10.7%とわずかに低下すると政府は見込む。民間最終消費支出や輸出の回復に伴い2013年の実質GDP成長率は0.7%と再びプラス成長に戻ると上記の経済収れん計画において予測している。

■ 貿易黒字幅はわずかに縮小

2012年の貿易は、輸出が前年比0.1%増の800億9,000万ユーロ、輸入は0.5%増の732億6,700万ユーロとなり、68億2,300万ユーロの黒字となった。黒字幅は前年の70億6,100万ユーロから3.4%縮小した。

輸出を品目別にみると、最大品目の通信・録音機器(構成比12.4%)は携帯電話および無線機器がほぼ半減したことから26.4%減、電気・電子機器(11.5%)も0.5%減と小幅であるが減少した。同品目の36.7%を占めるドイツ向けが0.9%減となったことが主因である。一方、道路輸送用機器は、輸出の35.7%を占めるドイツ向けが4.7%増と堅調だったほか、フランス向けが44.8%増、ウクライナ向けが32.2%増と大きく伸びたことから6.3%増となった。また、発電機器も25.1%を占めるディーゼルエンジンが7.8%減となった一方、4割を占める

表1 ハンガリー主要経済指標

	2011年	2012年	2012年			
			Q1	Q2	Q3	Q4
実質GDP成長率	1.6	△1.8	△0.6	△1.7	△1.7	△2.7
民間最終消費支出	0.4	△2.0	△0.8	△1.6	△4.1	△1.4
政府最終消費支出	△0.3	0.5	△0.6	0.8	△0.1	1.7
国内総固定資本形成	△3.6	△3.8	△4.6	△3.0	△1.7	△5.4
財貨・サービスの輸出	6.3	2.0	2.2	4.6	2.4	△1.1
財貨・サービスの輸入	5.0	0.1	0.2	1.7	△0.3	△1.0

【注】四半期の伸び率は前年同期比。

【出所】ハンガリー中央統計局

ガソリンエンジンが13.0%増となり、4.3%増となった。

国・地域別では、EU27 向け(構成比 76.0%)は 609 億 800 万ユーロと前年の 608 億 7,900 万ユーロとほぼ横ばいとなった。ハンガリー最大の輸出相手国であるドイツ向け(25.0%)は、自動車(4.7%増となったもの)の最大品目の電気・電子機器が0.9%減となり、全体で1.2%増にとどまった。また、イタリア、スペイン、英国向けが、いずれも最大品

目の通信・録音機器が大きく減少したことで落ち込んだ。

輸入を品目別にみると、主要品目でアジア主要国からの減少が目立った。このうち最大品目の電気・電子機器(構成比 12.3%)は日本と韓国からそれぞれ約 4 割減少したことから前年比 10.4%減となった。次いで構成比の大きい通信・録音機器(10.0%)も、輸入の約 3 割を占める中国から約 1 割、8.8%を占める韓国から約 2 割落ち込んだこと

から 4.0%減となった。他方、道路輸送用機器(6.9%)は、輸入の半分を占めるドイツから 13.4%増と大きく増加したことから 6.4%増となった。

国・地域別では、EU27 から(構成比 70.4%)が 2.0%増にとどまった。ドイツから(24.8%)は自動車分野のハンガリー国内での投資拡大を背景に 4.5%増となった。一方、イタリアからは発電機器や石油・石油製品が、オランダとフランスからは電気・電子機器などが減少した。また、非ユーロ圏から(15.0%)も 2.0%減となった。英国から(1.9%)が発電機器や電気・電子機器を中心に 6.0%減と落ち込んだことなどによる。

■自動車、再生可能エネルギー分野の対内投資に動き

2012 年の対内直接投資(国際収支ベース、ネット、フロー)をみると、2011 年の 31 億 5,200 万ユーロから 13.2%伸びて 35 億 6,800 万ユーロとなった。

対内直接投資を業種別にみると、金融・保険が 3.2 倍となった。一方、自動車など製造業は前年に引き続き引き揚げ超過となった。自動車では大きな投資引き揚げ案件はみられないことからグループ会社間などの金融取引が要因とみられる。

表 2 ハンガリーの主要品目別輸出入

	輸出				輸入			
	2011 年		2012 年		2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
通信・録音機器	13,477	9,914	12.4	△ 26.4	7,607	7,299	10.0	△ 4.0
電気・電子機器	9,230	9,187	11.5	△ 0.5	10,077	9,024	12.3	△ 10.4
道路輸送用機器	7,486	7,954	9.9	6.3	4,782	5,090	6.9	6.4
発電機器	6,845	7,138	8.9	4.3	3,275	3,355	4.6	2.4
医薬品	3,495	3,811	4.8	9.0	3,085	2,931	4.0	△ 5.0
一般機器	3,613	3,742	4.7	3.6	4,055	4,137	5.6	2.0
事務用機器・コンピューター	2,923	3,174	4.0	8.6	2,147	2,275	3.1	6.0
科学・制御機器	2,541	2,760	3.4	8.6	968	1,318	1.8	36.2
石油製品	1,823	1,996	2.5	9.5	5,046	5,126	7.0	1.6
雑製品	1,828	1,930	2.4	5.6	2,126	2,034	2.8	△ 4.3
金属製品	1,727	1,809	2.3	4.7	2,202	2,369	3.2	7.6
穀物および穀物調製品	1,565	1,740	2.2	11.2	369	373	0.5	1.1
合計(その他含む)	79,978	80,090	100.0	0.1	72,917	73,267	100.0	0.5

[注] EU 域外貿易は通関ベース(輸出は FOB、輸入は CIF)、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

表 3 ハンガリーの主要国・地域別輸出入

	輸出				輸入			
	2011 年		2012 年		2011 年		2012 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU27	60,879	60,908	76.0	0.0	50,593	51,592	70.4	2.0
ユーロ圏	43,969	44,068	55.0	0.2	39,359	40,578	55.4	3.1
ドイツ	19,783	20,013	25.0	1.2	17,366	18,144	24.8	4.5
イタリア	3,989	3,720	4.6	△ 6.7	3,278	3,272	4.5	△ 0.2
フランス	3,728	3,715	4.6	△ 0.3	2,654	2,649	3.6	△ 0.2
オランダ	1,985	2,203	2.8	11.0	3,042	3,007	4.1	△ 1.2
スペイン	2,107	1,849	2.3	△ 12.2	856	857	1.2	0.1
非ユーロ圏	16,910	16,840	21.0	△ 0.4	11,234	11,014	15.0	△ 2.0
英国	3,654	3,325	4.2	△ 9.0	1,489	1,400	1.9	△ 6.0
チェコ	2,971	3,103	3.9	4.4	2,495	2,536	3.5	1.6
ポーランド	3,071	3,054	3.8	△ 0.6	3,374	3,465	4.7	2.7
アジア大洋州	3,604	3,114	3.9	△ 13.6	9,540	8,683	11.9	△ 9.0
中国	1,216	1,405	1.8	15.5	4,398	4,203	5.7	△ 4.4
ASEAN	1,011	618	0.8	△ 38.9	1,255	1,146	1.6	△ 8.7
日本	432	447	0.6	3.5	1,146	988	1.3	△ 13.8
インド	350	217	0.3	△ 38.0	254	282	0.4	11.0
韓国	255	182	0.2	△ 28.6	1,523	1,127	1.5	△ 26.0
北米(NAFTA)	2,070	2,513	3.1	21.4	2,238	2,389	3.3	6.7
米国	1,639	1,905	2.4	16.2	1,406	1,475	2.0	4.9
ロシア	2,575	2,554	3.2	△ 0.8	6,400	6,403	8.7	0.0
ウクライナ	1,636	1,772	2.2	8.3	986	1,219	1.7	23.6
アフリカ	1,067	1,228	1.5	15.1	116	80	0.1	△ 31.0
湾岸協力会議(GCC)諸国	1,647	1,216	1.5	△ 26.2	29	55	0.1	89.7
トルコ	1,348	1,213	1.5	△ 10.0	359	399	0.5	11.1
ブラジル	190	255	0.3	34.2	101	126	0.2	24.8
合計(その他含む)	79,978	80,090	100.0	0.1	72,917	73,267	100.0	0.5

[注 1] アジア大洋州は ASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に香港および台湾を加えた合計値。

[注 2] EU 域外貿易は通関ベース(輸出は FOB、輸入は CIF)、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ハンガリー中央統計局

表4 ハンガリーの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ユーロ,%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
製造業	△ 11,137	△ 248	-	415	1,288	3.1
金属	△ 108	48	-	0	△ 4	-
機械	49	8	△ 83.7	-	-	-
コンピューター・電気機器・光学製品	△ 538	△ 7	-	27	233	8.6
食品	46	△ 53	-	-	-	-
自動車	△ 8,927	△ 328	-	3	-	全減
コークス・石油	△ 1,862	-	-	353	1,037	2.9
金融・保険	651	2,076	218.9	133	2,110	1,486.5
専門的活動	12,276	1,499	△ 87.8	△ 40	5,694	-
マネジメント	12,268	1,498	△ 87.8	2	5,714	285,600.0
商業・修理業	362	128	△ 64.6	18	△ 1	-
鉱業	16	101	531.3	-	-	-
建設	28	48	71.4	4	△ 0	-
不動産	142	35	△ 75.4	9	3	△ 66.7
情報・通信	152	△ 3	-	△ 130	△ 18	-
電気・ガス・暖冷房供給	523	△ 166	-	1	-	全減
合計(その他含む)	3,152	3,568	13.2	336	9,042	2,591.1

[出所] ハンガリー国立銀行

対内直接投資を国・地域別で見ると、EU27 からが 21 億 8,700 万ユーロと最も大きい。前年において最大の投資国であったオランダやドイツからの投資が減退した一方、ルクセンブルクからの投資が急増した。EU27 に次いで中南米が 15 億 8,900 万ユーロと大きい。主要国のブラジルやメキシコなどからの投資はなく、ケイマン諸島などタックスヘイブンを経由した投資が中南米に計上されたものとみられる。

2012 年に発表された主な対内直接投資案件をみると、イタリアの大手銀行インテザ・サンパオロが、厳しい経済

環境に対応するため、2012 年中に子会社のシーアイビー銀行に 1,017 億フォント(3 億 5,160 万ユーロ)の資本注入を行った案件が大きかった。再生可能エネルギー分野では、5 月、パンノニア・エタノール(アイルランド)が 1 億 2,000 万ユーロを投じてトウモロコシを原料とするバイオエタノールプラントを建設することを発表した。食品分野では食品用香料を生産する

ジボダン(スイス)が 10 月、1 億 3,000 万ユーロを投資して香料製造工場の建設を発表した。2013 年には 300 人の新規雇用を予定している。2013 年に入り、自動車分野では 2 月に米国自動車大手ゼネラルモーターズ傘下のオペルが 1 億 3,000 万ユーロを投入してエンジン組立工場を拡張すると発表し、4 月から建設を開始した。年間 10 万基のエンジンを増産し計 60 万基を生産する予定である。また、ネスレ(スイス)は 4 月、4,490 万ユーロを投資し生産能力を倍増すると発表した。

2012 年の対外直接投資は、前年の 3 億 3,600 万ユーロ

から 90 億 4,200 万ユーロへと急増した。2012 年に発表された主な対外直接投資案件では、国営石油大手 MOL が石油採掘権を獲得したことに加え、いくつかの国でガスステーションを増設した。また、OTP 銀行が外国支店に資本注入を行った。

■対日輸出は回復

2012 年の対日貿易は、ハンガリーからの輸出が前年比 3.5%増の 4 億 4,700 万ユーロ、輸入は 13.8%減の 9 億 8,800 万ユーロとなり、5 億 4,100 万ユーロの貿易赤字となった。

このうち、ハンガリーからの輸出では、最大品目である道路輸送用機器(構成比 20.1%)は 34.3%増と前年の 34.6%減から回復した。肉類(17.0%)は主に豚肉が 21.2%増加したこと、11.8%増となった。ハンガリーの高級豚肉「マンガリツァ

表5 ハンガリーの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位:100万ユーロ,%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2011年	2012年		2011年	2012年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU27	2,026	2,187	7.9	413	6,320	1,430.3
ユーロ圏	1,919	2,014	5.0	216	6,137	2,741.2
ドイツ	746	471	△ 36.9	△ 2	1	-
イタリア	185	406	119.5	△ 1	432	-
ルクセンブルク	1	401	40,000.0	△ 28	1,852	-
オランダ	1,137	215	△ 81.1	52	170	226.9
キプロス	1	66	6,500.0	174	582	234.5
ベルギー	110	△ 59	-	0	3,000	749,900.0
フランス	74	△ 130	-	△ 0	104	-
非ユーロ圏	107	173	61.7	198	183	△ 7.6
英国	59	160	171.2	-	11	全増
中南米	2,527	1,589	△ 37.1	△ 0	2,732	-
ブラジル	-	-	-	-	-	-
北米(NAFTA)	71	101	42.3	△ 33	103	-
米国	△ 6	101	-	△ 33	103	-
アジア大洋州	299	11	△ 96.3	9	△ 1	-
中国	3	70	2,233.3	2	-	全減
日本	2	1	△ 50.0	-	-	-
韓国	-	-	-	-	△ 1	-
インド	-	-	-	-	-	-
アフリカ	△ 18	6	-	△ 1	1	-
中東	79	-	全減	7	-	全減
合計(その他含む)	3,152	3,568	13.2	336	9,042	2,591.1

[出所] ハンガリー国立銀行

表6 ハンガリーの主要対内直接投資案件(2012年～2013年4月)

＜M&A＞						
被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
銀行	シーアイビー銀行	インターザ・サンパオロ	イタリア	2013年3月	1,017億フォロント(3億5,160万ユーロ)	増資
＜M&A以外＞						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
自動車部品	ブリヂストン	日本	2012年10月	2億6,700万ユーロ	乗用車用タイヤ製造工場の拡張	
香料	ジボダン	スイス	2012年10月	1億3,000万ユーロ	食品用香料製造工場の建設	
自動車部品	ゼネラルモーターズ	米国	2013年2月	1億3,000万ユーロ	オペルのエンジン組立工場の拡張	
再生可能エネルギー	パンノニア・エタノール	アイルランド	2012年5月	1億2,000万ユーロ	バイオエタノールプラントの建設	
製薬	テバ	イスラエル	2012年10月	220億フォロント(7,610万ユーロ)	注射針や輸液などの新製造工場建設	
自動車部品	レアウ・オートモーティブ	ドイツ	2013年3月	6,000万ユーロ	新工場の建設	
食品	ネスレ	スイス	2013年4月	130億フォロント(4,490万ユーロ)	既存工場の拡張	
流通	スーパー	オーストリア	2013年4月	4,000万ユーロ	自社製肉工場の拡張, 新店舗の設置, 既存店の近代化	
製薬	セルヴィエ	フランス	2012年9月	70億フォロント(2,420万ユーロ)	ブダペストに二つの研究・開発施設を開設	
電機	グルンドフォス	デンマーク	2013年1月	51億6,000万フォロント(1,780万ユーロ)	既存工場の拡張	
自動車部品	クノールプレムゼ	ドイツ	2013年4月	50億フォロント(1,730万ユーロ)	新工場とテストラボラトリーの建設	
自動車部品	ヒューブナー	ドイツ	2012年7月	1,100万ユーロ	新製造工場の建設と, 既存工場の拡張	
自動車部品	ポッペ・ポットフ	ドイツ	2013年1月	31億フォロント(1,080万ユーロ)	既存工場の製造能力強化	
自動車部品	キルヒホフ・オートモーティブ	ドイツ	2012年8月	27億フォロント(930万ユーロ)	工場の拡張と生産能力の強化	

〔出所〕各社発表および報道などから作成

豚」などが輸出されているものとみられる。このほかでは、科学・制御機器(15.4%)が21.1%増、一般機械(4.3%)が35.7%増と大きく伸びた。

ハンガリーの輸入は、最大品目である電気・電子機器(27.8%)が38.6%減と前年に引き続き減少した。前年に3割近く増加した道路輸送用機器(14.6%)も12.2%減となった。3番目に輸入額が多い発電機器(9.2%)を含め、上位3品目が軒並み減少した。

表7 ハンガリーの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2011年		2012年		2011年		2012年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
道路輸送用機器	67	90	20.1	34.3	164	144	14.6	△ 12.2
肉類	68	76	17.0	11.8	-	-	-	-
科学・制御機器	57	69	15.4	21.1	34	65	6.6	91.2
事務機器・コンピューター	60	43	9.6	△ 28.3	51	60	6.1	17.6
有機化学品	24	26	5.8	8.3	2	2	0.2	0.0
電気・電子機器	18	23	5.1	27.8	448	275	27.8	△ 38.6
医薬品	28	22	4.9	△ 21.4	1	3	0.3	200.0
一般機械	14	19	4.3	35.7	58	77	7.8	32.8
金属製品	16	18	4.0	12.5	38	48	4.9	26.3
雑製品	9	10	2.2	11.1	25	14	1.4	△ 44.0
発電機器	30	7	1.6	△ 76.7	103	91	9.2	△ 11.7
通信・録音機器	6	6	1.3	0.0	64	23	2.3	△ 64.1
合計(その他含む)	432	447	100.0	3.5	1,146	988	100.0	△ 13.8

〔出所〕ハンガリー中央統計局

■ 日系企業は一部新規進出の動き

ジェトロ・ブダペスト事務所の調査によると、ハンガリーに進出している日系企業は142社(2012年7月時点)で、そのうち製造業は42社となった。製造業42社のうち自動車(部品含む)が64%、電気・電子が17%、その他製造業が19%を占める。

2012年の日本からの対内直接投資額は50万ユーロで前年の220万ユーロから77.3%減少した。2012年は既存進出企業による追加投資の発表がみられた。2012年10月、

ブリヂストンがラジアルタイヤの生産能力を2017年前半までに3倍に拡大するため、2億6,700万ユーロの投資を行うと発表した。また、2012年11月にユニカムノルタが複写機などの製品の中・東欧市場向け物流センターの設置を発表した。2008年以降、新規の企業進出がみられなかったが、2013年に入り2月、フォルクスワーゲンの自動車向けシートを製造するテイ・エステックが進出を発表した。